

科学研究費補助金（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17106002	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	メカノケミカル酸化動力学に基づく応力腐食割れの物理化学的機序の解明	研究代表者 (所属・職)	庄子 哲雄（東北大学・大学院工学研究科・教授）

【平成20年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

研究の進捗状況評価意見が「着実に進展している」と「非常に遅れている」とに、大きく分かれている。遅れているとの評価は、実験的成果がコンピュータシミュレーションのそれに比べて少ないこと、不明重要因子の影響がシミュレーションには取り込まれていないのが通常であることによる。実用される材料の特性は、多くの因子の影響を複雑に受けて決まってくるものであるが、研究対象に取り上げられている少数の因子やインデックスのみで、材料を実用に供する上で必要十分な判断が出来るようになるかの疑問もある。研究が時間的に厳しい状況にあることは推測され、また理解もできるが、実験的な研究による材料評価について、より作業を進める必要がある。

これらの点を考慮し、研究成果の有効範囲を明確にして、研究を取り纏めていくことが望まれる。

【平成22年度 検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。